

## 2. 本計画の全体構成

3つの柱と、その実現のための16の施策目標を「全体ロジックモデル(論理体系図)」で整理

### 全体ロジックモデル

#### 基本理念

誰もが安心と希望をもって歳を重ねられる、未来につながるまち

#### 柱

##### 柱① 安心

出逢い、つながり、  
支えあう地域づくり

誰もが、認知症や  
要介護状態になっても、  
地域に支えられながら  
住み慣れた地域で  
自分らしく暮らしている。

##### 柱② 希望

やりたいこと、なりたい  
自分をあきらめない  
環境づくり

高齢者が一人ひとりに合った  
交流・活躍の場に参加し、  
社会と緩やかにつながりながら  
介護・フレイル予防につながる  
活動に取り組んでいる。  
リエイブルメントや要介護状態等の  
改善・重度化防止が  
効果的に行われている。

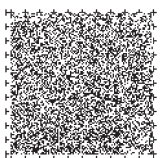
##### 柱③ 未来

世代を超えて信頼  
できる制度づくり

必要なサービスを  
将来にわたって安定的に提供  
できる体制が整っている。  
世代を超えて納得できる  
負担と給付の関係が  
保たれている。

#### 施策目標

- |    |   |
|----|---|
| 01 | 住み慣れた地域で、状態に応じた必要な介護サービス等が提供されている       |
| 02 | 医療と介護が一体的に提供され、在宅での生活が継続できている           |
| 03 | 高齢者が安心して暮らすことのできる住まいと住環境が整っている          |
| 04 | 高齢者の権利利益が擁護されている                        |
| 05 | 認知症への理解と備えが広がり、認知症の人と共に尊厳と希望をもって暮らしている  |
| 06 | 家族の負担が軽減されている                           |
| 07 | 多様な職種や機関が連携して個人や地域の課題を解決している            |
| 08 | 高齢者や介護者の様々な困りごとが、身近な場所で安心して相談されている      |
| 09 | 高齢者の多様なニーズに対応する支援や見守りが、多様な主体から提供されている   |
| 10 | それぞれのライフスタイルに合わせて社会参加を行っている             |
| 11 | 住民が介護予防に資する活動に取り組み、要支援・要介護状態になりにくくなっている |
| 12 | 望む暮らしの再獲得(リエイブルメント)が可能になっている            |
| 13 | サービスが効果的に提供され、利用者の状態改善や重度化防止につながっている    |
| 14 | 自立に向けて、必要なサービスを提供するために適切な認定が行われている      |
| 15 | 介護人材が十分に確保され、やりがいを感じながら、無理なく、効率的に働いている  |
| 16 | 高齢者福祉や介護保険事業について、EBPMの考え方と手法が定着している     |



各施策目標について、次ページに掲げる重要テーマを意識しながら具体的な取組や達成目標を設定。  
 施策目標ごとの論理体系も、「個別ロジックモデル」として見える化

## 施策目標ごとの主な取組

テーマ1  
地域  
包括ケア

テーマ2  
見守り  
情報発信

テーマ3  
介護予防  
活躍促進

テーマ4  
介護人材

テーマ5  
「若い」に  
備える

テーマ6  
認知症

テーマ7  
施策の  
実効性

テーマ8  
介護 DX

- 施設整備方針(第6章)に基づくサービス提供体制の整備
- 災害時に避難行動への支援が必要な方についての、一元的な把握と個別避難計画の策定
- 医療・介護分野の連携強化に向けた検討(基幹型地域包括支援センターの体制整備と連動)
- 最期まで自分らしく暮らすための備えについての、市民への普及啓発
- 生活支援と住まいの確保を連動させるための政策間連携の強化
- 年齢や体力に合わせた、住まいについて考えるための普及啓発
- 虐待があった際の適切な対応継続と、虐待が起きにくい環境づくりに向けた虐待防止計画の改定
- 元気なうちから認知症に備えた意思表示等を行うための普及啓発
- 認知症基本法を意識した、本人発信機会のさらなる強化
- 認知症への正しい理解を広め、地域共生の社会をつくる普及啓発
- ケアラー手帳の配布など、介護者を支援するための普及啓発の実施
- 介護者同士がつながる場の整備や、高齢者や介護者への理解を広めるための普及啓発
- 基幹型地域包括支援センターの強化や庁内の体制整備による高齢者あんしん相談センターの支援
- 高齢者や家族を支える関係者の連携体制強化
- 高齢者あんしん相談センターの支所的な機能を果たすシルバーふらっと相談室等の充実
- 身近な場所で支援に関する情報が手に入る環境づくりや、地域の見守り力強化に向けた普及啓発
- 住民主体で生活支援・移動支援を行う団体への支援
- てくぽによる市場サービス活用を含めた、産官連携のさらなる推進
- デジタル技術を活用した仕事・ボランティアのマッチングに向けた研究事業
- 行政・福祉関係者のプロモーション力強化に向けた検討
- 住民主体による介護予防のための通いの場(通所型サービスB)の拡大
- てくぽ事業
- 窓口での相談を効果的なリエイブルメントにつなげるための対応フロー整備
- リエイブルメントに向けたサービス(通所型サービスCなど)と生活支援コーディネーターの連動強化
- ケアプラン点検やケアマネジャーガイドライン作成による、ケアプランの質の向上支援
- 状態改善や重度化防止の成果公表など、事業所の努力を後押しする取組の検討
- 基本チェックリストの積極的な活用
- 認定状況の自治体間比較データ等の分析と共有
- 資格取得の補助や研修事業、介護の仕事の魅力発信
- 事業所の生産性向上などに向けた支援
- データ連携・分析のための「EBPM(根拠に基づく政策立案)プラットフォーム」の構築
- 費用対効果分析に基づく事業の見直しや外部委託による大規模化の流れづくり

